



東白川小だより

令和4年9月15日(木) №7

校長 桂川 辰也

私の誇り

新型コロナの感染対策で最も大切なことは、「感染の疑いのある人が他人と接触しないこと」です。学校では、本人及び同居家族が原因のはっきりしない体調不良の場合、登校を控えてもらっています。また、登校後に体調不良で早退する児童があれば、兄弟姉妹も一緒に早退をお願いしています。



上の写真をご覧ください。

これは、自宅待機を余儀なくされた仲間が、タブレットを利用して教室の仲間とつながり、学習している様子です。二学期に入り、殆どのクラスでこのリモート授業を実施しました。

「勉強が取り残されなくて安心した」 「友達の顔が見られて嬉しかった」

リモート授業を体験した子どもたちの感想です。

ある子に「リモート授業をする時、コロナの感染を友達に知られるかもしれないと心配しなかった？」と聞いてみました。意外にも「友達は最初から自分がコロナに感染したことを知っています」との返事でした。驚きましたが、私はその返事を聞いて、改めて、この東白川小学校の校長であることを誇りに思いました。

コロナハラスメントという言葉がありますが、この東白川小学校では、そういった心配は不要だと確信しました。同時に、「もっと早くからリモート授業に踏み切ってあげれば良かった」と自分の意気地の無さを悔やみました。

※リモート授業は、自宅待機を余儀なくされた児童とその保護者が希望する場合に実施します。